



法衣

縫製・販売

お坊さんが着る服「法衣」をつくって販売している会社です。

株式会社吉田法衣店

所在地／大垣市栗屋町24番地 TEL.0584-78-2964 <https://yoshidahouiten.jp/>

創業／1890年(明治23年)12月 従業員数／15名(2023年5月末現在)



もっと、くわしく
みてみよう!

しきばけんがくかのう
職場見学可能です

私たちの仕事

お寺のお坊さんが着る服を「法衣」といいます。私たちの会社では法衣をつくって販売しています。法衣には普段着るものから、お葬式などの儀式で着るものなどいろいろな種類があり、模様や色もさまざまです。そのためお坊さんの希望やサイズに合わせて法衣をつくっています。全国のお寺に対して、店頭販売だけでなく、出張販売、ネットショップなどで法衣を販売しているんですよ。



法衣ってどんなものなの?



法衣とは、お寺のお坊さんが着る服のことです。宗派(仏教内で分かれた派)によって着る法衣の種類が違います。また階級(地位などの上下の段階)によっても身につける法衣の色が違うんですよ。お坊さんになってから年数や経歴などによって階級が上がり、身につける法衣の色も変化していきます。宗派にかかわらず緋色(濃く明るい赤色)や紫色が最高の位で、ほかの階級については宗派によって色が違います。



法衣にはこんなものがあるよ! 写真で見てみよう!

間衣



疊袈裟



五条袈裟



裳附



袴



ここに
注目!!

法衣がどのようにつくられるのか見てみよう!

一つの法衣が完成するまでにはいろいろな作業があります。法衣がどのようにつくられるのか見てみましょう!

1 注文受付

注文が入った法衣の種類、数量、サイズなどをパソコンに入力します。



2 生地の確認

生地に傷や汚れがないかをチェックします。



3 裁断

注文の内容にしたがって、生地をカットします。



4 縫製

注文のサイズにしたがって生地を縫い、法衣を仕立てます。



5 検品

法衣のサイズなどを最終確認します。



6 仕上げ

法衣にアイロンをかけてたたみ、包みます。



7 完成

法衣のできあがり!



お稚児行列の衣装の貸出、着付けを行っています!



お稚児行列の衣装の貸出、着付けを行っています。また、日本の伝統文化である「和裁」の技術継承を行っています。

こんなものもつくっているよ!



シュタラクタイ



カバン



和雑貨

はたら
ひと
こえ
働く人の声

専務取締役
吉田 光利さん

私はお客様から注文を受けたり、要望を聞いて商品を企画・開発したりする仕事をしています。「こんな法衣がほしい」というお客様の要望から、これまでになかった商品をつくるのはおもしろいですね。たとえば「『鬼滅の刃』のキャラクターが着ている着物の柄で法衣をつくるほしい」という要望があり、実際に商品化したことがありますよ。お客様から「まさかつくれるとは思わなかつた!ありがとう!」と喜んでもらえると、なんともうれしい気持ちになります。

